

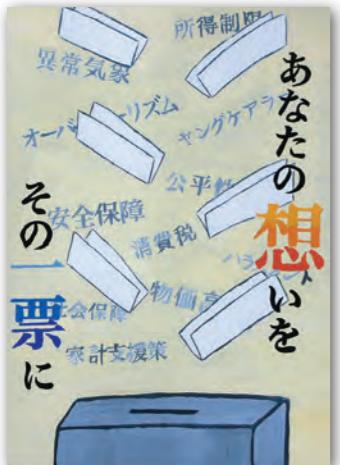


花巻市明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選作品を紹介します

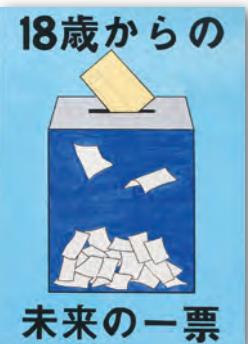
【問い合わせ】 花巻市選挙管理
委員会事務局(☎41-3603)

将来有権者となる児童生徒の皆さん、選挙を感じ、興味を持つきっかけとなるよう実施している「明るい選挙啓発ポスター」。本年度は小学校の部に27点、中学校の部に40点の応募がありました。その中から入選した作品を紹介します。

中学校の部



優秀賞



東和中1年
佐々木凜さん



花巻中3年
阿部恵太さん



花巻中3年
坊澤征周さん



花巻中3年
鈴木香凜さん

小学校の部



優秀賞



湯本小6年
高橋二菜さん



湯本小6年
小田島想さん



花巻中3年
西村風人さん



花巻中3年
西尾介利さん

小学生の部

- 花巻市長賞 小瀬川 雪花さん(湯本小6年)
- 県南広域振興局県税部花巻県税センター所長賞 泉田 明穂さん(桜台小6年)

中学生の部

- 東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞 阿部 奏さん(花巻中3年)
- 花巻市長賞・岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞 佐藤 志美嘉さん(大迫中2年)
- 花巻税務署長賞 永喜多 優花さん(湯本中3年)

税に対する関心や理解を深めるため、市内小中学生から毎年募集している「税についての作文」。本年度は小学生307人、中学生52人から応募がありました。主な賞で入賞した皆さんは左記のとおりです。その中から、中学生の部で東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した、阿部奏さんの作品を紹介します。

税に対する関心や理解を深めるため、市内小中学生から毎年募集している「税についての作文」。本年度は小学生307人、中学生52人から応募がありました。

「税についての作文」 入賞者を紹介します

【問い合わせ】
本館収納課(☎41-3530)

「理想の社会を実現するために」

もし、私たち学生誰もが等しく質の高い教育を受けることができ、病気になったりケガをしたりしても経済的な心配なく完全に治療を受けられ、誰もが安心して老後を過ごせる社会があつたとしたら、それはどんな社会なのでしょうか。私はこののような社会を実現するためには、一人ひとりが社会全体を支え合うしきみが必要不可欠だと思います。そして、その基盤となるのが、公平で公正な『税』であるべきです。税を単なる「負担」と捉えるのではなく、「未来への一票」と捉えることで、より豊かな社会を築いていくことができるのではないか。この考えを深めていく中で、教育水準の高さや福祉の充

実度が知られているフィンランドに注目しました。フィンランドの税制は私が理想とする社会を具体的に示してくれていると思いました。調べてみて一番驚いたのは、日本の消費税にあたる付加価値税が24%ということです。しかもその税金の70%以上が社会保障や教育、医療に関することに使われているそうです。そのことから、高い税率がかけられた一方で、国民のための充実した社会保障制度がとられていることがわかりました。しかしこれほど高い税負担が国民にのしかかっているとなると、不満を待つ人が多くてもおかしくないと私は裏腹に、アンケートによると思いました。ですが、私の予想とは違いました。ですが、私の予想とは裏腹に、アンケートによると國民の96%が納得して税金を払っていると回答していました。また、小学校から大学までの学費が無料であり、高齢者の家賃およそ八割を国が負担していました。フィンランドが世界幸福度ランキングで首位を維持している要因として、国民が

フィンランドの事例は、税が単なる負担ではなく、国民の生活の質を向上させ、社会全体を豊かにするための投資であるということを明確にしています。私たちの日常生活は当たり前にどのように享受している多くのサービスに支えられています。これらサービスが可能になつてるのは税金があるからです。税金と聞くと「高い」「複雑」といったネガティブなイメージを抱く人が多いと思いますが本当にそれが強調され、税がもたらす恩恵が見えにくくなっているのでないでしょうか。フィンランドは豊かさの源泉として税を位置づけ、その恩恵を国民が享受している事実を知り、私はこれまでの税に対する固定観念が大きくなり、高齢者へのケアも充実して、高齢者へのケアも充実して、高齢者へのケアも充実して、一人ひとりが税のもつ力を理解し、積極的に未来を創造する主体となることこそが誰もが安心して過ごせる豊かな社会を築くための第一歩となるでしょう。

◎来年度も同コンクールを実施する予定です。ご応募をお待ちしています

